

宮崎県立赤江まつばら支援学校

幼児児童生徒数：31名 学級数：11学級 URL: <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/q934/>

〈テーマ〉 「夢や自尊心を育む」ことのできる学校づくり
～パーソナリティ（個性、人間性）を重視した人権教育～

本校の特色ある取組

○ 本校児童生徒・保護者・職員合同「人権教育に関する研修会」

株式会社 RICEFIELD の大脇真由香さん（本校卒業生）を講師として招き、「私と仕事～働きながら病気とつき合うこと～」をテーマに講演をしていただいた。病気で思うように仕事ができないことがありながらも、御自身の夢であったアニメーターの仕事ができる喜びや夢や希望をもち、生きていくことの大切さを講演していただいた。大脇さんの話は、聴講した児童生徒の心に大きく響いた。



【人権教育研修会の様子】

○ ピア・サポート活動の実践

本年度、小学部児童がピア・サポート活動を行った。準備や言葉掛けの練習を行った後、下学年に折り紙を教える活動を実施した。活動後も、様々な場面で優しい言葉掛けをする様子が見られるようになった。

○ 松風祭での取組

小学部では、「大切な自分・大切ななかま」をテーマに発表を行った。自分の夢や思いについてそれぞれ発表した。聴講していた保護者、職員も人権やいのちの大切さについて考えさせられた内容であった。

○ 人権週間の取組

職員校内 LAN「ミライム」掲示板で、

- ・ 幼児児童生徒名の呼称を、性別にかかわらず「〇〇さん」付けにすることを徹底しましょう！
- ・ 職員間での言動も幼児児童生徒のよいモデルとなることを校内へ呼び掛けましょう！

と校内人権教育推進委員会で話し合ったことを全職員へ呼び掛け、人権啓発を図った。

○ 校内の環境整備

職員室に人権教育コーナーを設置し、人権教育に関する資料等を掲示している。人権担当者が資料等を整理し、新しいものに更新するようにしている。

また、学級活動での取組を廊下に掲示した。掲示板は「ありがとう」「上手だね。」等あたたかい言葉のカードでいっぱいになっている。



【人権教育コーナー】



【ぼかぼかことばコーナー】

成果と課題

- 本年度、授業や研修等、人権に関する教育の実践を多く行ってきた。職員が人権を意識し実践することにより、職員、児童生徒の人権感覚の高揚につながった。
- 本校卒業生による講話を通して、児童生徒が「病気に負けず生きていこう」という気持ちや希望をもったり、自分や自分の将来について前向きに考えたりするよい機会となった。
- 今後も、人権に関する環境の整備、研修・授業実践等を積極的に行い、職員や幼児児童生徒及び職員の人権感覚の高揚に努めたい。